



# 日高山脈博物館だより

## HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

日高山脈博物館は「ジオ・ミュージアム」

道内唯一の地質と岩石の登録博物館！

通算

第83号 2023.12.

### 道内学芸員の中では少数！ 地質と岩石が専門の 日高山脈博物館学芸員の主な活動報告

#### 博物館の学芸員は、常に活動しています。

学芸員は、常に博物館にいて、主に博物館の事業を開催しているようなイメージもあると思いますが、それは博物館の専門職員としての側面の一部であり、それ以外にも常にさまざまな分野や場所などで活動しています。

今年も、主に、野外巡検や博物館を含めた野外学習などの講師依頼を受けました。依頼先も、町内・町外、さらには道内・道外さまざまとなりました。

日高町内の依頼では、6月に富川小学校の授業で、博物館の展示解説や岩石の同定にかかる講師を、9月には日高小学校2年生の授業で、博物館や図書館の仕事の内容について紹介する役割、10月に日高小学校6年生の授業で、さんごの沢の地質観察の講師などを務めました。

町外からの依頼では、5月に富良野デザイン会議暮らしステーションからの依頼で、ふらのみらいらぼ『石・ひと・アート 第1回ワークショップ』での博物館解説と沙流川での岩石観察の講師を、6月に上富良野町東中小学校からの依頼で、博物館展示解説や沙流川の岩石についての学習講師を、7月にガールスカウト北海道第17団からの依頼で、『石博士になろう！』での岩石観察の講師を、7月・8月には、(株)西遊旅行の『日本列島の起源を探る地質紀行【中央北海道編】』にて、博物館解説や日高山脈の岩石観察の講師を、9月には、山形大学理学部地球科学コース「野外巡検：北海道見学旅行」授業の指導援助の依頼で、博物館の展示解説やさんごの沢・沙流川での地質や岩石の解説などの講師を、また苫小牧科学センターからの依頼では「日高山脈の成り立ち」をテーマにした講演と岩石同定会の講師など、多くの講師等の依頼を受けました。

他にも、最近のテーマとして、北海道の縄文遺跡から出土する石製の遺物について、岩石学的・地質学的分析を行ない、遺物の石材の科学的特徴を明らかにして、原産地の推定を行なうことも、外部の公的機関との共同研究・共同調査を行ない、調査研究を進めています（日高が原産地のひとつになっているかもしれません）。今後も、積極的に博物館活動を行なっていきたいと考えています。



講師などを務めている場面の写真です。上から順に、(株)西遊旅行のツアー（8月22日）、山形大学の野外巡検（9月26日）、富川小学校の宿泊学習（6月29日）の場面です。

日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。…⇒ ホームページ (<https://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。